

*ケンプアセスメントについて

家庭訪問支援によって児童虐待やネグレクトを予防し、子どもの健全な発育を促進することを目的とした、児童虐待の危険度を計る家族アセスメントのこと。アメリカのヘンリー・ケンプ博士らが作成した。

また、以下についてを前提としている。

- ① 児童虐待やネグレクトを防止するもっとも効果的な方法は、新生児の親に介入していく。
- ② 肯定的な親子間の相互作用を促進することが介入の要素となる。
- ③ 生まれてから5歳くらいまで、徹底して虐待やネグレクトから守るためのサービスが行われなければならない。

ケンプアセスメント参考に愛知県の保健師の研究グループがアセスメント項目を再考した内容を参考に、各保健期間が親子健康手帳交付時のアンケートを検討している。

- ① 結婚していない(未婚、離婚)、別居している
- ② 母の年齢(17歳以下)
- ③ パートナーに(1人親は本人に)決まった仕事がない
- ④ 経済的に困っている
- ④ 高校を卒業していない(父、母)
- ⑤ 緊急時に連絡する人がいない(家族や身近に支援がない)
- ⑥ 過去か現在、タバコ、お酒、(薬物)に依存
- ⑦ 最初の妊婦健診が妊娠5か月(20週)以降だった
- ⑧ 今までに中絶したことがある
- ⑨ 心療内科や精神科で薬をもらったことがある(既往歴)
- ⑩ 望んだ妊娠ではなかった
- ⑪ 夫婦関係の問題がある(DVなど)
- ⑫ ここ1年間に、うつ状態が2週間以上続いたことがある
(不眠、イライラする、涙ぐみやすい、何もやる気がしない、食欲不振、精神症状があるなど)
- ⑬ 支援の必要な外国人である

赤字の項目がひとつ以上、又はその他の項目が2つ以上で支援をスタート

<参考文献>

家族の長所に焦点を当てた育児支援プログラムの普及事業

特定非営利活動法人 子どもの虐待防止ネットワーク・あいち(平成22年1月)より